

竹田 iP グループのサステナビリティ

サステナビリティ方針

当社グループにおけるサステナビリティの方針は、「経営の基本方針」である社是、「当社が存在する意義」である基本理念、「信頼される企業であり続けるために」との想いで定めた行動規範を実践することであると考えます。

社是（経営の基本方針）

熱意・和合・奉仕

基本理念（当社が存在する意義）

Mission： 溢れるほどの情熱をもって、革新しつづける。

Vision： 社会から信頼され、必要とされる存在に。

Value： 1. 竹田 i P グループの総合力
2. 心ある誠実な企業風土
3. 相手に寄り添うサービス

Spirit： 1. あらゆる可能性に挑戦せよ。
2. いかなる時も思い遣りを持て。
3. 粘り強く進め。
4. 社会的課題を解決すべく学べ。
5. 約束と法律を遵守せよ。

Slogan： 情熱と革新の未来へ。

行動規範（信頼される企業であり続けるために）

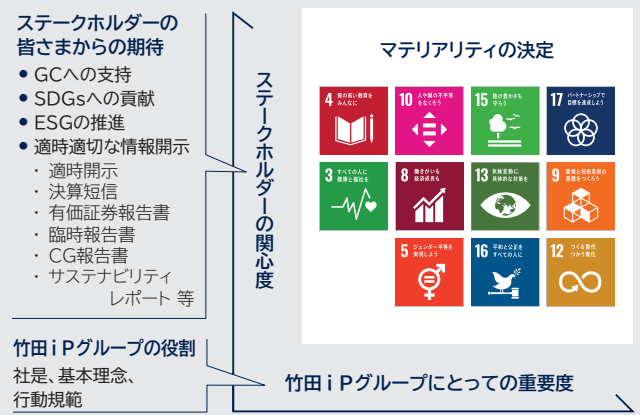
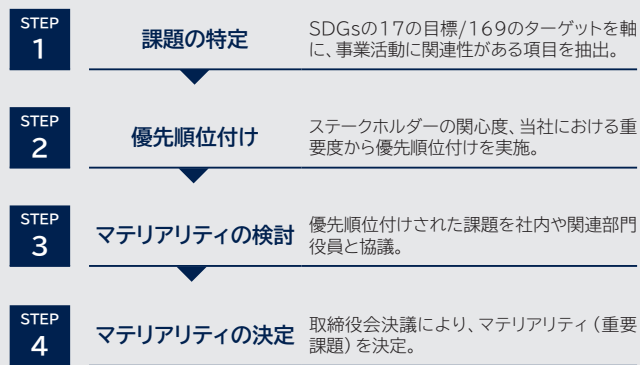
- コンプライアンスの実現のために：責任ある行動をしよう
- 顧客満足の実現のために：お客様に感謝しよう
- 働きがいのある企業風土づくりのために：
仲良く朗らかに元気よく働こう
- グループの総合力発揮とさらなる発展のために：
社運発展のためお互いに協力しよう
- よき企業市民となるために：よき家庭の一員となろう

竹田 i P グループフィロソフィー【持続可能な社会の実現】

全員が共有して持つべき意識・価値観・考え方



私たちは、「社是」「基本理念」「行動規範」に従い、当社の成長を通じて持続可能な社会の実現に貢献したいと考えています。そのため、SDGsで示されている社会的課題の解決や、ESG（環境・社会・ガバナンス）領域に率先して取り組み、全てのステークホルダーの皆様からの期待に積極的に応えていきます。当社グループの取り組みをより活性化させるために、11個のマテリアリティ（重要課題）を決定しました。



そして、11個のマテリアリティ（重要課題）の関連性を「事業活動を通じた社会的課題の解決」と「社会的課題を解決に導く経営基盤の強化」に整理しました。



マテリアリティ【重要課題】に対する取り組み

マテリアリティ（重要課題）に積極的に取り組むため、今後は事業戦略と連動した目標（施策・KPI）の具体化を竹田マネジメントシステムを通じて、進めてまいります。

項目	マテリアリティ（重要課題）	ESG	7つの中核課題（ISO26000）	責任者	主な取り組み
事業活動を通じた社会的課題の解決	13 気候変動による気候変動の影響を軽減すること、15 陸域生態系の保全と持続可能な利用を促進すること	E	環境	竹田 i P グループ 事業会社役員	紙媒体とデジタル媒体の融合を推進 カーボンニュートラルの実現に向けた取り組み ● ISO14001およびFSC森林認証の運用、管理 ● エシカルペーパーの提案 ● 環境に配慮した印刷手法 ● 限りある資源の有効活用 ● 原材料、省エネルギー、大気への排出、排水および廃棄物などの管理
	9 産業・製造業の発展と雇用の創出を促進すること、12 つくばる資源の循環を促進すること		消費者課題		お客様満足度No.1企業に向けた取り組み お客様の課題解決を促進 お客様のコミュニケーション支援および販売支援 紙媒体とデジタル媒体の融合を推進 ● ワンストップソリューションの強化 ● お客様の置かれている状況とビジネスモデルを深く理解する ● お客様との協業による社会的課題の解決 ● 低コスト生産体制の構築 ● 半導体関連マスク事業の強化 ● 新事業の開発 ● ISO9001およびISO27001の運用、管理
社会的課題を解決に導く経営基盤の強化	3 気候変動による気候変動の影響を軽減すること、4 質の高い雇用を創出すること、5 ジェンダー平等を促進すること、8 豊かさを創出し、持続可能な成長を促進すること、10 人や国ごとの経済的格差を縮減すること、16 平和と公正な社会を築くこと	S	公正な事業慣行	竹田 i P グループ 事業会社役員	サプライヤーの皆様と対等で公正な取引実施 良好なパートナーシップの構築 ● 技術、情報の相互交流などによる信頼関係の構築 ● 改善策の推進による共存共栄
			労働慣行		多様な人材の活用推進 労働安全 健康経営 ● 様々な教育制度により社員の能力向上やキャリアアップを推進 ● 福利厚生などの諸制度による社員や家族の生活をサポート ● 労働災害発生防止の徹底
			人権		ダイバーシティとワーク・ライフ・バランスの推進 ● 女性活躍のための制度の充実と社員の意識改革 ● 実労働時間の短縮 ● 生産性を高め場所や時間に縛られない柔軟な働き方 ● 仕事とプライベートの両立と質的向上の確立などの働き方改革を推進
			コミュニティ		地域社会との信頼関係の構築 ● 安心安全な地域社会づくりのための地道な地域貢献活動の継続的実施
	17 持続可能な開発目標を達成すること	G	組織統治	竹田 i P ホールディングス 経営管理担当役員	透明性のある企業としてコーポレート・ガバナンスの強化、コンプライアンスの徹底 株主、投資家の皆様への対応 ● 経営の透明性と健全性の確保、迅速な意思決定と適切な事業遂行 ● 法令順守と倫理の確保などに向けて組織管理体制の確保 ● コーポレートガバナンス・コードへの対応 ● ISO27001およびPマークの運用、管理 ● 適時適切な情報開示の実施 ● 株主、投資家の皆様との対話

“SDGsへの取り組み”

▶ 知育教材アプリによる介護支援

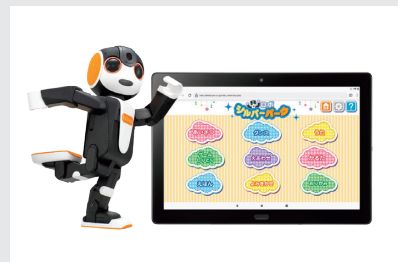
ICT（情報通信技術）機器を通じた業務の軽減化

コミュニケーションロボット「ロボホン」を活用した、高齢者福祉施設向け介護レクリエーションアプリ「ロボシルバーク」を開発。2021年に販売を開始した知育教材アプリ「ロボキッズパーク」の知見や利用者様のご意見を反映し、QOLの補助、高齢者福祉施設職員の方の負担軽減をめざして開発・商品化されました。

▶ プラスチック使用量を削減

環境配慮型のパッケージの普及

日栄印刷紙工では、熱をかけると縮む性質をもつ“シュリンクフィルム”を台紙に貼付けた「シュリンクフィルム貼付台紙」をご提案しています。従来のプリスターパック（透明なパッケージ）よりも、プラスチック使用量を削減することができ、環境配慮型のエコなパッケージです。小ロット・多品種に対応したシュリンクフィルム貼付装置を自社設備として導入しており、除菌スプレーのパッケージ等に採用されました。



▶障がい者支援

障がい者アーティストの雇用を開始

2023年10月より竹田印刷は、フォントデザイナー 伊山英吾さんを「アート雇用※」として採用し、新たな社員として迎えました。竹田印刷は今後も、障がいのある方の芸術・文化活動支援を通じて、障がいのある方が社会との交流を広げられるよう、ダイバーシティ&インクルージョンの実現に向けた活動を推進してまいります。

※アート雇用：在宅または作業所に通っている方が、自宅で創作活動を行う条件で会社と雇用契約を結び、月に1回程度業務内容を報告するという、変則的な在宅勤務の雇用形態。愛知県障害福祉課と愛知労働局、ハローワークが共同して、全国に先駆けて進めている取り組み。

Topics

名古屋市図書館へアートブックカバー・アート貸出券を寄贈

2024年4月2日の世界自閉症啓発デーに合わせて名古屋市図書館で伊山英吾さんの作品を展示し、アートブックカバー・アート貸出券（限定100枚）を寄贈しました。障がいのある方の多様な働き方の普及に取り組むとともに、アートを通して誰もが輝ける社会づくりに貢献するため、地域社会と連携してこのような活動を継続してまいります。



貸出券デザイン



ブックカバーデザイン

各種方針掲載冊子の内職作業を“就労継続支援B型事業所”へ依頼

当社グループの社員が、竹田iPグループの各種方針に従って行動し、経済的な成長と社会課題の解決を目指すための手引きとして、携帯用の各種方針掲載冊子を作成しました。折作業とスリーブ入れの作業を“就労継続支援B型事業所 ハッピー（はやま株式会社）様”に依頼。折りやすいように、ページとページの境目にあえて罫線を入れるなどの配慮をしました。今後も、“障がいのある方が経済的対価を得られる仕組みづくり”に貢献し、ビジネスパートナーとしての関係を築いていきます。



▶活動内容の普及-1

南山大学・愛知淑徳大学 学生の企業訪問の受け入れ

2023年8月22日、“障がい者アートに対する取り組み”に関する取材のため、南山大学と愛知淑徳大学の学生5名が来社されました。取材内容は、来訪した大学生の手によって「とっておきの音楽祭in名古屋※」のSNSに掲載され、若い世代にも竹田印刷での取り組みを知っていただく機会となりました。

※とっておきの音楽祭in名古屋：障がいのある人もない人も高齢者も子どもも、音楽のチカラで「心のバリアフリー」を目指すことを趣旨とする無料の街角コンサート。



▶活動内容の普及-2

岐阜市立加納中学校 学生の企業訪問の受け入れ

2023年9月29日、“SDGsに積極的に取り組んでいる企業”への訪問学習として、岐阜市立加納中学校の中学生6名が来社されました。SDGs関連の取り組みとして、環境に配慮した用紙や、環境負荷低減を実践するために開発した紙製ストローの紹介、障がいのある方の社会参加支援を目的とした障がい者アートの活用事例等を紹介しました。



竹田iPホールディングスおよび竹田印刷は今後も、SDGsの目標にもある「17.パートナーシップで目標を達成しよう」に基づき、地域社会との信頼関係の構築に取り組んでまいります。

▶ダイバーシティの推進

女性の働き方に関する交流会を実施

2024年1月に竹田印刷は、株式会社丸天産業様・株式会社ダイセキ様との3社で女性の働き方に関する交流会を実施し、“ライフイベントと両立しながら働くことができる職場づくり”の推進に向けた意見交換を行いました。女性活躍に関する課題の洗い出しを行ったあと、各社の成功事例を共有し、仕事の生産性を高めるための工夫などを紹介しあいました。参加後には社内報（グループ報）にて交流会参加レポートを公開し、竹田iPグループ全社員に情報共有いたしました。今後も全社員総活躍企業の実現を目指し、このような取り組みを職場環境の改善や個人の意識改革につなげてまいります。



“2023年度のサステナビリティに関する活動報告”

～サステナビリティ推進室より～



2023年は1850年以来最も暑い年になりました。これは比喻でも何でもなく、世界の平均気温が過去最高に達したのです。そのような環境のなか当社は、2023年6月に開催した取締役会で当社グループの温室効果ガスの排出量^(注1)削減目標を定めました。奇しくも、最も暑い年に温室効果ガスの排出削減に関する目標を定めたことになります。2023年度の竹田iPホールディングスの取締役会は、温室効果ガス排出量の定量的な情報を共有し問題意識を深めました。東海プリントメディアでは、太陽光発電設備が稼働を開始し、日栄印刷紙工では、照明器具の全面LED化が実施され、温室効果ガスの排出量削減に寄与しました。さらに2024年6月より、プロセス・ラボ・ミクロンでも太陽光発電設備の稼働が開始されました。竹田iPグループは「気候変動リスク」を優先的に取り組むべき課題として、今後も真摯に取り組んでまいります。



最近よく耳にする「人的資本」。人材を資本と見なす考え方で、改めて脚光を浴びていますが、それは当然のことです。企業は人がいないと成り立ちません。もちろん、竹田iPグループも人材の大切さは充分に認識しており、

2023年度には、社員の皆様の財産形成の一助になればと従業員持株会RS制度^(注2)を導入しました。賛同いただけた皆様に従業員持株会へ加入頂いたことで、持株会の加入率は24.9%から41.5%にまで高まりました。この活動により、社員の経営参画意識の高まりにも期待しています。また、これまでの取り組みの成果として竹田iPホールディングスおよび竹田印刷は、健康経営優良法人に認定されました。竹田iPグループは、今後も行動規範に示した「仲良く朗らかに元気よく働ける」組織を目指します。



「ガバナンス」とは、「統治・支配・管理」を示す言葉です。組織における不正行為を未然に防ぎ、体制管理をするために必要不可欠とされます。竹田iPホールディングスでは、監査役会設置会社から監査等委員会設置会社へ移行、社外取締役を複数名置くなどガバナンスの強化に努め、取締役会や監査等委員会の開催を通じて監督機能を発揮してまいりました。さらに、当社初の女性取締役が選任され、多様性確保にも努めました。一方で、非常に残念なことに当社子会社において不正事案が発生しました。取締役会はこの不正事案の発生を猛省し、事実関係の解明と再発防止策の策定に全力を尽くしました。また、自らがその役割と責務を実効的に果たしているか否かを評価するために、取締役会の実効性評価の仕組みを導入。この取り組みを通じて、継続的に取締役会の機能強化を図ってまいります。

(注1) 当社および国内主要子会社8社が対象

(注2) 財産形成の一助として長年活用されてきた従業員持株会を通じ、譲渡制限付株式の取得機会を提供する制度